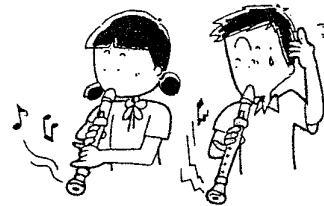


Q7

学級の子供たちから、不登校の子供の欠席理由について聞かれました。担任として、どう答えたらよいでしょうか。

A 学級の子供への対応

- 《担任の基本的態度・姿勢1》
- 折に触れてその子供のことを話題にして、みんなで見守って
いこうという学級の雰囲気をつくります。
- 家庭訪問で話したことや学級へのメッセージなどがあれば、
伝えるのもよいでしょう。
- 友達のことを心配している子供の心情を十分に受け止めなが
ら、ケースバイケースで答えます。



《子供との会話の例》

子供「先生、Aさん、どうしたの。」
先生「まだ体調がよくないんだって。心配してくれてありがとう。
今度、Aさんに会ったら、あなたが心配をしていたことを伝えて
おくれ。」

子供「先生、B君、昨日元気そうに買い物していたよ。」
先生「そうか。少しの時間なら外へ出てもいいくらいになったんだ
ね。それはよかった。もう少しで、皆と一緒に過ごせるかもし
れないね。教えてくれてありがとう。」

子供「先生、C君は不登校なの？」
先生「あのね、今、C君は学校に行きたくても行けない感じなのね。
みんなも心配なことや不安なことがあるとそんなことないか
な？今は、もう少しそっとしておいてあげようね。」

- 《基本的態度・姿勢2》
- 不登校の子供が気にしていることの一つに、学校に行けない
自分のことを、学級のみながどう思っているかということが
あります。
- 説明をするときは、事前に不登校の子供や保護者の思いに対
して十分な配慮をしておきたいものです。